

# 漢詩「絶句・律詩のきまり」識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

## はじめに

漢詩（近体詩）には、**句数・字数・押韻・対句**のきまりがあります。縦書きの詩（右から左へ一句ずつ）を読んで、ア～エから選びましょう。

詩型	一句の字数	句数
五言絶句	五字	四句
七言絶句	七字	四句
五言律詩	五字	八句
七言律詩	七字	八句

鉄則 - 句数で絶句（四句）／律詩（八句）、字数で五言（五字）／七言（七字）。 - 押韻…ふつう偶数句の末字で韻を踏む。七言は第一句末も踏むことが多い。 - 対句…律詩の頷聯（三・四句）と頸聯（五・六句）が原則。 - 句の名…絶句＝起句・承句・転句・結句／律詩＝首聯・頷聯・頸聯・尾聯。

## 採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	21／30
第4部 入試	Q81～Q100	13／20

## 【第1部】基礎（Q1～Q20）

きまり **Q1**. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 四句から成る詩を絶句、八句から成る詩を律詩という

イ 四句から成る詩を律詩、八句から成る詩を絶句という

ウ 句の数では区別せず、字数だけで区別する

解答欄：

**きまり** Q2. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 一句が五字なら七言、七字なら五言という

イ 一句が五字なら五言、七字なら七言という

ウ 五言・七言は作者の名で決まる

解答欄：

**詩型** Q3. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

花 夜 処 春  
落 来 処 眠  
知 風 処 不  
多 雨 聞 覚  
少 声 啼 曉  
鳥

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

**詩型** Q4. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

更上一層樓  
欲窮千里目  
黃河入海流  
白日依山盡

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

解答欄：

詩型 Q5. 次の漢詩の形式 (詩型) として正しいものを、後のア～エから選べ。

唯見長江天際流  
孤帆遠影碧空盡  
煙花三月下揚州  
故人西辭黃鶴樓

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

解答欄：

詩型

Q6. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

渭城朝雨浥輕塵  
客舍青青柳色新  
勸君更盡一杯酒  
西出陽關無故人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型

Q7. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

国破山河在  
城春草木深  
感時花濺淚  
恨別鳥驚心  
烽火連三月  
家書抵萬金  
白頭搔更短  
渾欲不勝簪

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q8. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不盡長江滾滾來  
万里悲秋常作客  
百年多病獨登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

きまり Q9. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 近体詩では、ふつう奇数句の末字で韻を踏む

イ 近体詩では韻を踏まない

ウ 近体詩では、ふつう偶数句の末字で韻を踏む

解答欄：

きまり Q10. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 律詩では、ふつう第三・四句と第五・六句が対句になる

イ 律詩では、第一・二句だけが対句になる

ウ 律詩に對句の決まりはない

解答欄：

詩型 Q11. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

独釣寒江雪  
孤舟蓑笠翁  
万径人踪灭  
千山鸟飞绝

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q12. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

笑問客從何処來  
兒童相見不相識  
鄉音無改鬢毛衰  
少小離家老大回

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q13. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

朝辞白帝彩云间  
千里江陵一日还  
两岸猿声啼不住  
轻舟已过万重山

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q14. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

青山横北郭  
白水遶东城  
此地一为别  
孤蓬万里征  
浮雲遊子意  
落日故人情  
揮手自兹去  
蕭蕭班馬鳴

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

句の名称 **Q15.** 絶句の各句（第一～四句）の呼び名を選べ。

花 夜 処 春  
落 来 処 眠  
知 風 聞 不  
多 雨 啼 覺  
少 声 鳥 曉

ア 首聯・頷聯・頸聯・尾聯

イ 起句・承句・転句・結句

ウ 序・破・急

解答欄：

句の名称 **Q16.** 律詩の二句ずつのまとまりの呼び名を選べ。

渾 白 家 烽 恨 感 城 国  
欲 頭 書 火 別 時 春 破  
不 搔 抵 連 烏 花 草 山  
勝 更 万 三 驚 濺 木 河  
簪 短 金 月 心 淚 深 在

ア 起句・承句・転句・結句

イ 上句・中句・下句

ウ 首聯・頷聯・頸聯・尾聯

解答欄：

詩型 Q17. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

復照青苔上  
返景入深林  
但聞人語響  
空山不見人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

句の名称 Q18. 第七・八句のまとまりの呼び名を選べ。

蕭蕭班馬鳴  
揮手自茲去  
落日故人情  
浮雲遊子意  
孤蓬万里征  
此地一為別  
白水遶東城  
青山橫北郭

ア 第七・八句＝尾聯

イ 第七・八句＝頷聯

ウ 第七・八句＝首聯

解答欄：

きまり Q19. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 対句は、同じ語をくり返すことである

イ 対句は、二つの句が文法・意味の上で対応して並ぶ技法である

ウ 対句は、句末の字をそろえることである

解答欄：

句の名称 Q20. 第一句の呼び名として正しいものを選べ。

独 孤 万 千  
釣 舟 径 山  
寒 蓑 人 鳥  
江 笠 蹤 飛  
雪 翁 滅 絶

ア 第一句＝結句

イ 第一句＝転句

ウ 第一句＝起句

解答欄：

押韻 Q21. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

花 夜 処 春  
落 来 処 眠  
知 風 聞 不  
多 雨 啼 覚  
少 声 鳥 曉

ア 曉・鳥・少

イ 眠・鳥・声

ウ 曉・声・少

解答欄：

押韻 Q22. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

更上一層楼  
欲窮千里目  
黄河入海流  
白日依山尽

ア 尽・流

イ 流・楼

ウ 山・楼

解答欄：

押韻 Q23. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

独釣寒江雪  
孤舟蓑笠翁  
万径人踪灭  
千山鸟飞绝

ア 絶・滅

イ 翁・雪

ウ 滅・雪

解答欄：

押韻 Q24. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

故人西辞黄鹤楼  
烟花三月下扬州  
孤帆远影碧空尽  
唯见长江天际流

ア 楼・州・流

イ 辞・州・流

ウ 楼・月・流

解答欄：

押韻 Q25. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

渭城朝雨浥轻塵  
客舍青青柳色新  
勸君更盡一杯酒  
西出陽關無故人

ア 塵・酒・人

イ 塵・新・人

ウ 城・新・人

解答欄：

詩型 Q26. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

何 日 是 歸 年  
今 春 看 又 過  
山 青 花 欲 然  
江 碧 鳥 逾 白

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q27. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

疑 是 銀 河 落 九 天  
飛 流 直 下 三 千 尺  
遥 看 瀑 布 挂 前 川  
日 照 香 炉 生 紫 煙

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q28. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

蕭蕭班馬鳴  
揮手自茲去  
落日故人情  
浮雲遊子意  
孤蓬万里征  
此地一為別  
白水遶東城  
青山橫北郭

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q29. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

夜半鐘声到客船  
姑蘇城外寒山寺  
江楓漁火对愁眠  
月落烏啼霜满天

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q30. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

葡萄美酒夜光杯  
欲飲琵琶馬上催  
醉臥沙場君莫笑  
古來征戰幾人回

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

押韻 Q31. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

朝辞白帝彩云间  
千里江陵一日还  
两岸猿声啼不住  
轻舟已过万重山

ア 間・住・山

イ 帝・還・山

ウ 問・還・山

解答欄：

押韻 Q32. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

笑問客從何処來  
兒童相見不相識  
鄉音無改鬢毛衰  
少小離家老大回

ア 回・衰・來

イ 家・衰・來

ウ 回・識・來

解答欄：

押韻 Q33. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

日照香炉生紫煙  
遙看瀑布挂前川  
飛流直下三千尺  
疑是銀河落九天

ア 炉・川・天

イ 煙・川・天

ウ 煙・尺・天

解答欄：

押韻 Q34. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

月落烏啼霜滿天  
江楓漁火對愁眠  
姑蘇城外寒山寺  
夜半鐘聲到客船

ア 天・寺・船

イ 啼・眠・船

ウ 天・眠・船

解答欄：

押韻 Q35. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

國破山河在  
城春草木深  
感時花濺淚  
恨別鳥驚心  
烽火連三月  
家書抵萬金  
白頭搔更短  
渾欲不勝簪

ア 深・心・金・簪

イ 在・心・金・簪

ウ 深・涙・金・簪

解答欄：

詩型 Q36. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

独在異郷為異客  
每逢佳節倍思親  
遙知兄弟登高処  
遍插茱萸少一人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q37. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不盡長江滾滾來  
万里悲秋常作客  
百年多病独登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q38. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

独 孤 万 千  
釣 舟 径 山  
寒 蓑 人 鳥  
江 笠 蹤 飛  
雪 翁 滅 絶

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

押韻 Q39. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

古 醉 欲 葡  
来 臥 飲 萄  
征 沙 飲 美  
戦 場 琵 琶 酒  
幾 君 瑟 馬 夜  
人 莫 上 光  
回 笑 催 杯

ア 杯・笑・回

イ 杯・催・回

ウ 光・催・回

解答欄：

**押韻** Q40. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

蕭蕭班馬鳴  
揮手自茲去  
落日故人情  
浮雲遊子意  
孤蓬万里征  
此地一為別  
白水遶東城  
青山橫北郭

ア 郭・征・情・鳴

イ 城・別・情・鳴

ウ 城・征・情・鳴

解答欄：

**句の名称** Q41. 第一句の呼び名として正しいものを選べ。

更上一層樓  
欲窮千里目  
黃河入海流  
白日依山盡

ア 第一句＝起句

イ 第一句＝転句

ウ 第一句＝結句

解答欄：

句の名称 **Q42.** 第三句の呼び名として正しいものを選び。

朝辞白帝彩云间  
千里江陵一日还  
两岸猿声啼不住  
轻舟已过万重山

ア 第三句=起句

イ 第三句=転句

ウ 第三句=承句

解答欄：

きまり **Q43.** 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 七言の詩は、絶対に第一句末で韻を踏まない

イ 七言の詩は奇数句末すべてで韻を踏む

ウ 七言の詩は、第一句末でも韻を踏むことが多い

解答欄：

内容 **Q44.** 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

花落知多少  
夜来风雨声  
处处闻啼鸟  
春眠不觉晓

ア 春の朝のまどろみと、夜の雨で散った花への思い

イ 戦に明け暮れる兵士の嘆き

ウ 友を見送る別れのつらさ

解答欄：

内容 Q45. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

更上一層楼  
欲窮千里目  
黄河入海流  
白日依山尽

ア 故郷を離れる悲しみ

イ より遠くを見ようと、さらに高い所へ登る向上心

ウ 酒に酔う楽しさ

解答欄：

詩型 Q46. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

渭城朝雨浥輕塵  
客舍青青柳色新  
勸君更盡一杯酒  
西出陽關無故人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

押韻 Q47. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

独在異郷為異客  
每逢佳節倍思親  
遥知兄弟登高処  
遍插茱萸少一人

ア 客・人

イ 親・処

ウ 親・人

解答欄：

句の名称 Q48. 第三・四句のまとまりの呼び名を選べ。

渾欲不勝簪  
白頭搔更短  
家書抵万金  
烽火連三月  
恨別鳥驚心  
感時花濺淚  
城春草木深  
国破山河在

ア 第三・四句＝頷聯

イ 第三・四句＝首聯

ウ 第三・四句＝尾聯

解答欄：

詩型 Q49. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

朝辞白帝彩雲間  
千里江陵一日還  
兩岸猿声啼不住  
輕舟已過万重山

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

句の名称 Q50. 第二句の呼び名として正しいものを選び。

笑問客從何処來  
兒童相見不相識  
鄉音無改鬢毛衰  
少小離家老大回

ア 第二句=転句

イ 第二句=承句

ウ 第二句=結句

解答欄：

対句 Q51. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

渾欲不勝簪  
白頭搔更短  
家書抵万金  
烽火連三月  
恨別鳥驚心  
感時花濺淚  
城春草木深  
国破山河在

ア 第一・二句と第七・八句

イ 第二・三句と第六・七句

ウ 第三・四句と第五・六句

解答欄：

対句 Q52. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不盡長江滾滾來  
万里悲秋常作客  
百年多病独登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 第三・四句と第五・六句

イ 第一・二句だけ

ウ 対句はない

解答欄：

対句 Q53. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

青山横北郭  
白水遶東城  
此地一為別  
孤蓬万里征  
浮雲遊子意  
落日故人情  
揮手自茲去  
蕭蕭班馬鳴

ア 第七・八句だけ

イ 第三・四句と第五・六句

ウ 対句はない

解答欄：

対句 Q54. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

更上一層楼  
欲窮千里目  
黄河入海流  
白日依山尽

ア 第二・三句

イ 対句はない

ウ 第一・二句と第三・四句

解答欄：

対句 Q55. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

独釣寒江雪  
孤舟蓑笠翁  
万径人踪滅  
千山鳥飛絶

ア 第一・二句

イ 第三・四句

ウ 対句はない

解答欄：

内容 Q56. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

独釣寒江雪  
孤舟蓑笠翁  
万径人踪滅  
千山鳥飛絕

ア 戦に勝った喜び

イ 雪の中、ただ一人釣り糸を垂れる孤高の境地

ウ 春の野で遊ぶ楽しさ

解答欄：

内容 Q57. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

唯見長江天際流  
孤帆遠影碧空尽  
煙花三月下揚州  
故人西辭黃鶴樓

ア 敵と戦う決意

イ 酒宴の陽気さ

ウ 旧友を見送り、遠ざかる帆をいつまでも見つめる惜別

解答欄：

内容 Q58. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

渭城朝雨浥輕塵  
客舍青青柳色新  
勸君更盡一杯酒  
西出陽關無故人

ア 旅立つ友に、もう一杯と勧める別れの情

イ 故郷へ帰る喜び

ウ 戦場の勇ましさ

解答欄：

内容 Q59. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

少小離家老大回  
鄉音無改鬢毛衰  
兒童相見不相識  
笑問客從何処來

ア 若くして出世した喜び

イ 年老いて故郷に帰り、子どもに他所者と扱われる感慨

ウ 戦に敗れた無念

解答欄：

内容 Q60. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

朝辞白帝彩云间  
千里江陵一日还  
两岸猿声啼不住  
轻舟已过万重山

ア 山に登るつらさ

イ 雨に降られた旅の苦勞

ウ 長江を一気に下る舟の、軽やかで爽快な速さ

解答欄：

内容 Q61. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

日照香炉生紫煙  
遥看瀑布挂前川  
飛流直下三千尺  
疑是銀河落九天

ア 天から流れ落ちるかのような廬山の滝の雄大さ

イ 静かな夜の寂しさ

ウ 友との別れ

解答欄：

内容 Q62. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

月落烏啼霜滿天  
江楓漁火對愁眠  
姑蘇城外寒山寺  
夜半鐘聲到客船

ア 都の華やかな宴

イ 旅の夜のもの寂しさと、響いてくる寒山寺の鐘

ウ 戦勝の凱旋

解答欄：

内容 Q63. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

独在異郷為異客  
每逢佳節倍思親  
遙知兄弟登高處  
遍插茱萸少一人

ア 戦に出る覚悟

イ 春の行楽の喜び

ウ 重陽の節句に、故郷の兄弟を一人離れて思う心

解答欄：

内容 Q64. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

葡萄美酒夜光杯  
欲飲琵琶馬上催  
醉臥沙場君莫笑  
古來征戰幾人回

ア 辺境の宴の華やぎと、戦の無常をないまぜにした思い

イ 故郷の春ののどかさ

ウ 出世への意欲

解答欄：

押韻 Q65. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

江碧鳥逾白  
山青花欲然  
今春看又過  
何日是歸年

ア 白・年

イ 然・年

ウ 然・過

解答欄：

押韻 Q66. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

空山不見人  
但聞人語響  
返景入深林  
復照青苔上

ア 人・響

イ 林・上

ウ 響・上

解答欄：

**押韻** Q67. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不盡長江滾滾來  
万里悲秋常作客  
百年多病獨登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 哀・回・來・台・杯

イ 哀・下・來・台・杯

ウ 哀・回・客・台・杯

解答欄：

**対句** Q68. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

何日是帰年  
今春看又過  
山青花欲然  
江碧鳥逾白

ア 第三・四句

イ 第一・二句

ウ 対句はない

解答欄：

詩型 Q69. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

笑問客從何処來  
兒童相見不相識  
鄉音無改鬢毛衰  
少小離家老大回

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

詩型 Q70. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

国破山河在  
城春草木深  
感時花濺淚  
恨別鳥驚心  
烽火連三月  
家書抵萬金  
白頭搔更短  
渾欲不勝簪

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

解答欄：

句の名称 **Q71.** 第四句の呼び名として正しいものを選べ。

故人西辞黄鹤楼  
烟花三月下扬州  
孤帆远影碧空尽  
唯见长江天际流

ア 第四句＝起句

イ 第四句＝承句

ウ 第四句＝結句

解答欄：

句の名称 **Q72.** 第五・六句のまとまりの呼び名を選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不盡長江滾滾來  
万里悲秋常作客  
百年多病独登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 第五・六句＝頸聯

イ 第五・六句＝頷聯

ウ 第五・六句＝首聯

解答欄：

内容 Q73. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

空山不見人  
但聞人語響  
返景入深林  
復照青苔上

ア 都の喧噪

イ 人気のない山に夕日が射す、静かで奥深い情景

ウ 海の荒々しさ

解答欄：

内容 Q74. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

何日是帰年  
今春看又過  
山青花欲然  
江碧鳥逾白

ア 戦の悲惨さ

イ 出世の喜び

ウ 美しい春景色の中でわく望郷の念

解答欄：

詩型 Q75. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

唯見長江天際流  
孤帆遠影碧空尽  
煙花三月下揚州  
故人西辭黃鶴樓

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

押韻 Q76. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

蕭蕭班馬鳴  
揮手自茲去  
落日故人情  
浮雲遊子意  
孤蓬万里征  
此地一為別  
白水遶東城  
青山橫北郭

ア 城・征・情・鳴

イ 城・別・情・鳴

ウ 郭・征・意・鳴

解答欄：

対句 Q77. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

渾欲不勝簪  
白頭搔更短  
家書抵万金  
烽火連三月  
恨別鳥驚心  
感時花濺淚  
城春草木深  
国破山河在

ア 第一・二句のみ

イ 第三・四句と第五・六句

ウ 対句はない

解答欄：

句の名称 Q78. 第二句の呼び名として正しいものを選べ。

何日是帰年  
今春看又過  
山青花欲然  
江碧鳥逾白

ア 第二句=転句

イ 第二句=結句

ウ 第二句=承句

解答欄：

**詩型** Q79. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

更上一層楼  
欲窮千里目  
黄河入海流  
白日依山尽

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

**内容** Q80. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

国破山河在  
城春草木深  
感時花濺淚  
恨別鳥驚心  
烽火連三月  
家書抵萬金  
白頭搔更短  
渾欲不勝簪

ア 戦乱の世を憂い、離ればなれの家族を思う嘆き

イ 春の行楽の楽しさ

ウ 出世した誇り

解答欄：

詩型 Q81. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不盡長江滾滾來  
萬里悲秋常作客  
百年多病獨登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

押韻 Q82. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

国破山河在  
城春草木深  
感時花濺淚  
恨別鳥驚心  
烽火連三月  
家書抵萬金  
白頭搔更短  
渾欲不勝簪

ア 在・深・金・簪

イ 深・心・金・簪

ウ 深・心・短・簪

解答欄：

対句 Q83. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無邊落木蕭蕭下  
不盡長江滾滾來  
萬里悲秋常作客  
百年多病獨登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 第七・八句のみ

イ 対句はない

ウ 第三・四句と第五・六句

解答欄：

内容 Q84. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不尽長江滾滾來  
万里悲秋常作客  
百年多病独登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 秋の高台で、老いと孤独・人生の苦渋を詠む

イ 若き日の旅の喜び

ウ 戦に勝った高揚

解答欄：

句の名称 Q85. 第七・八句のまとまりの呼び名を選べ。

国破山河在  
城春草木深  
感時花濺淚  
恨別鳥驚心  
烽火連三月  
家書抵萬金  
白頭搔更短  
渾欲不勝簪

ア 第七・八句＝頸聯

イ 第七・八句＝尾聯

ウ 第七・八句＝首聯

解答欄：

押韻 Q86. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

朝辞白帝彩云间  
千里江陵一日还  
两岸猿声啼不住  
轻舟已过万重山

ア 雲・還・山

イ 間・陵・山

ウ 間・還・山

解答欄：

きまり Q87. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 絶句の構成を「起・承・転・結」、律詩の四聯を首・頷・頸・尾という

イ 絶句を「序・破・急」、律詩を「起・承・転・結」という

ウ 絶句・律詩とも「首・頷・頸・尾」という

解答欄：

内容 Q88. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

渭城朝雨浥轻塵  
客舍青青柳色新  
勸君更盡一杯酒  
西出陽關無故人

ア 戦地へ向かう勇氣

イ 旅立つ友に別れの一杯を勧め、行く先の孤独を思いやる

ウ 故郷の春をなつかしむ

解答欄：

**対句** Q89. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀  
渚清沙白鳥飛回  
無辺落木蕭蕭下  
不尽長江滾滾來  
万里悲秋常作客  
百年多病独登台  
艱難苦恨繁霜鬢  
潦倒新停濁酒杯

ア 第一・二句は対句でない

イ 律詩に對句はない

ウ 第一・二句も對句になっている

解答欄：

**押韻** Q90. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

故人西辭黃鶴樓  
煙花三月下揚州  
孤帆遠影碧空盡  
唯見長江天際流

ア 楼・州・流

イ 楼・尽・流

ウ 辞・州・際

解答欄：

詩型 Q91. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

蕭蕭班馬鳴  
揮手自茲去  
落日故人情  
浮雲遊子意  
孤蓬万里征  
此地一為別  
白水遶東城  
青山橫北郭

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

句の名称 Q92. 次の漢詩について、後の問いにア～ウで答えよ。

朝辞白帝彩雲間  
千里江陵一日還  
兩岸猿声啼不住  
輕舟已過万重山

ア 第三句＝起句で詩を起こす

イ 第三句＝転句で、場面や視点が転じる

ウ 第三句＝結句で締める

解答欄：

内容 Q93. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

蕭蕭班馬鳴  
揮手自茲去  
落日故人情  
浮雲遊子意  
孤蓬万里征  
此地一為別  
白水遶東城  
青山橫北郭

ア 戦の決意

イ 都での出世

ウ 友との別れに、漂う雲と沈む日を重ねて惜しむ

解答欄：

押韻 Q94. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

夜半鐘声到客船  
姑蘇城外寒山寺  
江楓漁火对愁眠  
月落烏啼霜滿天

ア 天・眠・船

イ 天・火・船

ウ 啼・眠・到

解答欄：

詩型 Q95. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

遍插茱萸少一人  
遙知兄弟登高処  
每逢佳節倍思親  
独在異鄉為異客

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

対句 Q96. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

蕭蕭班馬鳴  
揮手自茲去  
落日故人情  
浮雲遊子意  
孤蓬万里征  
此地一為別  
白水遶東城  
青山橫北郭

ア 第一・二句と第七・八句

イ 第三・四句と第五・六句

ウ 対句はない

解答欄：

内容 Q97. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

日照香炉生紫煙  
遙看瀑布挂前川  
飛流直下三千尺  
疑是銀河落九天

ア 夜の静けさ

イ 別れの悲しみ

ウ 滝を銀河が天から落ちるさまにたとえた雄大な誇張

解答欄：

句の名称 Q98. 次の漢詩について、後の問いにア～ウで答えよ。

独在異鄉為異客  
每逢佳節倍思親  
遙知兄弟登高処  
遍插茱萸少一人

ア 第一句＝起句、第四句＝結句

イ 第一句＝結句、第四句＝起句

ウ 聯で数える

解答欄：

**詩型** Q99. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

日照香炉生紫煙  
遙看瀑布挂前川  
飛流直下三千尺  
疑是銀河落九天

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

解答欄：

**きまり** Q100. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 近体詩には字数や句数のきまりがない

イ 押韻・対句・句数のきまりを持つ唐代以降の詩を近体詩という

ウ 絶句は八句、律詩は四句である

解答欄：